

## 鹿にとってゴミは悪影響

3年5組13番 佐藤 愛華

3年5組19番 成澤 陽和

3年5組22組 林 沙妃奈

Keyword: 「鹿」「ポイ捨て」「奈良公園」

## 1. はじめに

私たちは奈良公園のポイ捨ての影響で鹿が死んでしまったという事件を知り、鹿を守りたいと思い探究のテーマとした。奈良公園に生息する鹿は、観光名所として人気があり、多くの観光客が訪れている。しかし、近年、ゴミの増加が鹿に深刻な影響を及ぼしている。特に、食べ残しやプラスチックごみが鹿の健康を脅かす要因となっている。そこで、私たち人間の影響で鹿が死んでしまう事件を少しでも減らすために探究を進めた。

## 2. 序論

私たちの目的は人間が出したゴミから鹿を守るために、ゴミの種類や量が鹿の健康や生態にどのように影響を与えているかを明らかにすることである。具体的には、鹿が誤って飲み込むゴミや、ゴミを食べることによる消化器系の問題、さらには生態系への影響について調べた。奈良の鹿愛護会によると、2017年3月から6月に死亡したシカ14頭のうち9頭の胃の中から、レジ袋や食べ物の包装用ビニールなどの塊が見つかった。そのうち1頭の胃からは4キロ以上ものごみが見つかった。観光地として有名な奈良には1200頭以上の鹿が生息し、自由に歩き回っている。奈良の鹿は国の天然記念物に指定されており、法律で保護されている。特に奈良公園に生息している鹿が多く、観光客は園内で売っている鹿せんべいを与えることができる。鹿せんべいには砂糖が入っておらず、ビニール袋にも入っていない。しかし、一部の観光客が鹿に人間のお菓子などを与えているとみられている。鹿がゴミを食べてしまっている原因は、人間が捨てていく食べ物の包装のビニールやレジ袋を匂いで見つけその匂いから食べてしまうからである。

足立和奏さんは、「奈良の鹿と人間の共生社会の在り方」で、条例の制定や厳罰化について一般的な過去の条例の制定や厳罰化は、ポイ捨てに限らず事態の改善には繋がっていないと述べている。その理由として、厳罰化(罰金額の引き上げ等)が行為の代価として認識されるケースが多いことと全ての外国人観光客がゴミ箱にゴミを捨てる文化を持っているわけではないからだと言及している。このことから、私たちは外国人もゴミは持ち帰るというルールが分かるようなポスターを作成する。また、鹿が漁ることが出来ないようなゴミ箱を作成したり、地域の方々のゴミ拾いボランティアに参加しようと考えた。

## 3. 本論

私たちはまず奈良公園に行き、落ちていたゴミの種類と量を調査することにした。1回目、6月7日17時頃に観察してみると、目立った大きいゴミはなく人通りも少なかった。2回目、6月15日11時頃休日の昼に観察してみると、食べ物が入っていたゴミ袋やペットボトル、奈良公園周辺の屋台のゴミが多く見られた。平日に比べると外国人観光客が多かった。そこで私たちは日本人がゴミを落としているのではなく、外国人観光客がゴミを落していると考え、なぜ外国人観光客がゴミを落しているのか調べることにした。岩本智樹さんは、外国人の中には、自国ではポイ捨てが一般的であったりゴミ箱が十分に整備されていない環境で育った人もおり、そのような文化の違いや経験から奈良公園でも同様の行動をとっ

てしまうのではないかと述べている。また、言葉の壁や情報不足も問題となることがあると言及している。

奈良公園にはゴミ箱が設置されているが、外国人にとっては分かりにくい場所にあるのかもしれない。外国人が奈良公園のポイ捨て禁止のルールを知らない場合もある。情報が不足しているため、ゴミの分別方法が理解できないと考えた。さらに、ゴミを持ち歩く時間や手間を省くためにポイ捨てという選択をすることがあるのだ。そこで私たちは、どうしたら外国人観光客のポイ捨てを減らすことが出来るのか考えた。まず第一に、情報を正確に広めることや宣伝活動が重要だと考えた。公園の入り口や観光スポットなどに、多言語でポイ捨ての禁止やゴミの正しい捨て方に関する情報を広めるポスターやパンフレットを置くことが効果的だと考えた。さらに、外国人観光客向けの観光ガイドブックやウェブサイトでも、注意表記やルールの説明を行うことで、観光客が正しく行動するための情報を提供をすることが必要だと考えた。それから、設備の整備や改善が必要だと考えた。しかし、設備の整備をするには、私たちがすぐ実現出来る政策ではなかったため、私たちがすぐに実現できるのは、ポスター作りだと考え作ることにした。



私たちは一目見て分かるような端的でインパクトがあるポスターを制作した。調べた記事によると、効果のあるデザインでイラストを使って目立たせたり、目立つ配色でシンプルに訴求したり、人物の画像つまり鹿を使うことで無意識に語りかけることが効果があると記

されていた。私たちはそのアイデアを使い、背景は赤にし、実際に影響を受ける鹿の画像を使うことで見る人が誰でも分かるようなポスターにした。

#### 4. 結論

ポスターを作ってみて改めて、人間が捨てるゴミのせいで鹿が安心して暮らすことができなくなってしまうという問題を少しでも早く解決したいと考えた。それに加えて、まだ作れていない「鹿が漁ることができず、奈良公園の景観も崩さないようなゴミ箱をデザインし作ってみたいと考えている。

#### 5. 参考文献・出典

- ・ 奈良のシカ、レジ袋を食べて死亡 過去4カ月で9頭

<https://www.bbc.com/japanese/48946416> (2024-12-2)

- ・ 【ごみ捨て禁止看板】効果のあるデザイン6選

<https://www.parking-kanban.com/blog/2024/09/5545/> (2024-12-2)

- ・ 奈良の鹿と人間の共生社会の在り方

<https://nwuss.nara-wu.ac.jp/media/sites/11/db9079fc92d4cd1b6e0d764cd7ac3b17.pdf> (2024-12-2)